

平成30年度

公害関係各種調査結果

飯能市産業環境部

# 平成30年度公害関係各種調査結果

## 目 次

1	市内ゴルフ場における農薬調査結果	1
2	道路交通騒音測定結果	3
3	道路交通振動測定結果	6
4	大気関係常時監視測定結果	8
5	光化学スモッグ注意報発令日時内容	9
6	二酸化窒素環境濃度調査結果	10
7	公害関係苦情受付状況	11
8	地下水汚染調査結果	12
9	ダイオキシン類環境調査結果	14
10	不法投棄パトロール等の状況	18
11	公共用水域の水質調査結果	19

市内ゴルフ場における農薬調査結果  
平成30年度

単位：mg/l

種類	ゴルフ場 項目	本市の 指針値	飯能ゴルフ倶楽部	久瀬 カントリークラブ	武蔵丘 ゴルフコース	飯能グリーン カントリークラブ
			H30.6.14	H30.6.14	H30.6.14	H30.6.14
殺虫剤	イソキサチオン	0.04	※	※	※	※
	クロルピリホス	0.01	※	※	※	※
	ダイアジノン	0.025	※	※	※	※
	チオジカルブ	0.4	※	※	※	※
	トリクロルホン	0.025	※	※	※	※
	フェントロチオン	0.015	※	※	※	※
	ペルメリン	0.5	※	※	※	※
	ペンシルタッフ	0.45	※	※	※	※
殺菌剤	イプロシオン	1.5	※	※	※	※
	イミノクタジナルベシル 酸塩及びイミノクタジン 酢酸塩	0.03	※	※	※	※
	エトリジアゾール	0.02	※	※	※	※
	オキシ銅	0.1	※	※	※	※
	キャプタン	1.5	※	※	※	※
	クロタロニル	0.2	※	※	※	※
	クロネブ	0.25	※	※	※	※
	ジフェノコナゾール	0.125	※	※	※	※
	シプロコナゾール	0.15	※	※	※	※
	チウラム	0.1	※	※	※	※
	チオファネートメチル	1.5	※	※	※	※
	チフルサミト	0.185	※	※	※	0.002
	テトラコナゾール	0.05	※	※	※	※
	トリフルミゾール	0.195	※	※	※	※
	トルクロホスメチル	1.0	※	※	※	※
	バリタマイシン	6.0	※	※	※	※
	ヒドロキシイソキサゾール	0.5	※	※	※	※
	プロピコナゾール	0.25	※	※	※	※
ベノミル	0.1	※	※	※	※	
ホスカリト	0.55	※	※	※	※	
ホセチル	11.5	※	※	※	※	
ポリカーバメート	0.15	※	※	※	※	
除草剤	アシュラム	5.0	※	※	※	※
	エトキシスルフロ	0.7	※	※	※	※
	シクロスルファミロン	0.4	※	※	※	※
	シテュロン	1.5	※	※	※	※
	シマジソ	0.015	※	※	※	※
	トリクロピル	0.03	※	※	※	※
	ナプロハミト	0.15	※	※	※	※
	フラサスルフロ	0.15	※	※	※	※
	プロピサミト	0.25	※	0.0001	※	※
	ペンフルリン	0.05	※	※	※	※
	MCPAイソプロピルアミ ン塩及びMCPAナト リウム塩	0.025	※	※	※	※
植物成長調整剤						
トリネキサバックエチル	0.075	※	※	※	※	

備考：「※」は、定量下限値未満

指針値は、飯能市環境保全条例施行規則第40条に定める水質指針値

市内ゴルフ場における農薬調査結果  
平成30年度

単位：mg/ℓ

種類	ゴルフ場 項目	本市の 指針値	飯能パーク カントリークラブ	東都飯能 カントリークラブ	飯能くすの樹 カントリー倶楽部	本市の 指針値	新武蔵丘 ゴルフコース
			H30.6.14	H30.6.14	H30.6.14		H30.6.14
殺虫剤	イソキサチオン	0.04	※	※	※	0.008	※
	クロルピリホス	0.01	※	※	※	0.002	※
	ダイアジノン	0.025	※	※	※	0.005	※
	チオジカルブ	0.4	※	※	※	0.08	※
	トリクロルホン	0.025	※	※	※	0.005	※
	フェントロチオン	0.015	※	※	※	0.003	※
	ペルメトリン	0.5	※	※	※	0.1	※
	ペンスタップ	0.45	※	※	※	0.09	※
殺菌剤	イプロジオン	1.5	※	※	※	0.3	※
	イミノクタジナルベシル 酸塩及びイミノクタジン	0.03	※	※	※	0.006	※
	エトリシアゾール	0.02	※	※	※	0.004	※
	オキシ銅	0.1	※	※	※	0.02	※
	キャプタン	1.5	※	※	※	0.3	※
	クロタロニル	0.2	※	※	※	0.04	※
	クロネブ	0.25	※	※	※	0.05	※
	シフェノコナゾール	0.125	※	※	※	0.025	※
	シプロコナゾール	0.15	※	※	※	0.03	※
	チウラム	0.1	※	※	※	0.02	※
	チオファネートメチル	1.5	※	※	※	0.3	※
	チフルサミド	0.185	0.001	※	0.002	0.037	※
	テトラコナゾール	0.05	※	※	※	0.01	※
	トリフルミゾール	0.195	※	※	※	0.039	※
	トルクロホスメチル	1.0	※	※	※	0.2	※
	ハリタマイシン	6.0	※	※	※	1.2	※
ヒドロキシイソキサゾール	0.5	※	※	※	0.1	※	
プロピコナゾール	0.25	※	※	※	0.05	※	
ベノミル	0.1	※	※	※	0.02	※	
ホスカリド	0.55	※	※	※	0.11	※	
ホセチル	11.5	※	※	※	2.3	※	
ポリカーバメート	0.15	※	※	※	0.03	※	
除草剤	アシュラム	5.0	※	※	※	1	※
	エトキシスルフロ	0.7	※	※	※	0.14	※
	シクロスルファミロン	0.4	※	※	※	0.08	※
	シデュロン	1.5	※	※	※	0.3	※
	シマジン	0.015	※	※	※	0.003	※
	トリクロピル	0.03	※	※	※	0.006	※
	ナプロパミド	0.15	※	※	※	0.03	※
	フラサスルフロ	0.15	※	※	※	0.03	※
	プロピサミド	0.25	※	※	※	0.05	※
	ペンフルリン	0.05	※	※	※	0.01	※
	MCPAイソプロピルアミ ン塩及びMCPAナト リウム塩	0.025	※	※	※	0.005	※
植物成長調整剤							
トリネキサバクエチル	0.075	※	※	※	0.015	※	

備考：「※」は、定量下限値未満  
指針値は、飯能市環境保全条例施行規則第40条に定める水質指針値  
(但し、新武蔵丘は、1/5)



道路交通騒音測定結果  
平成30年度

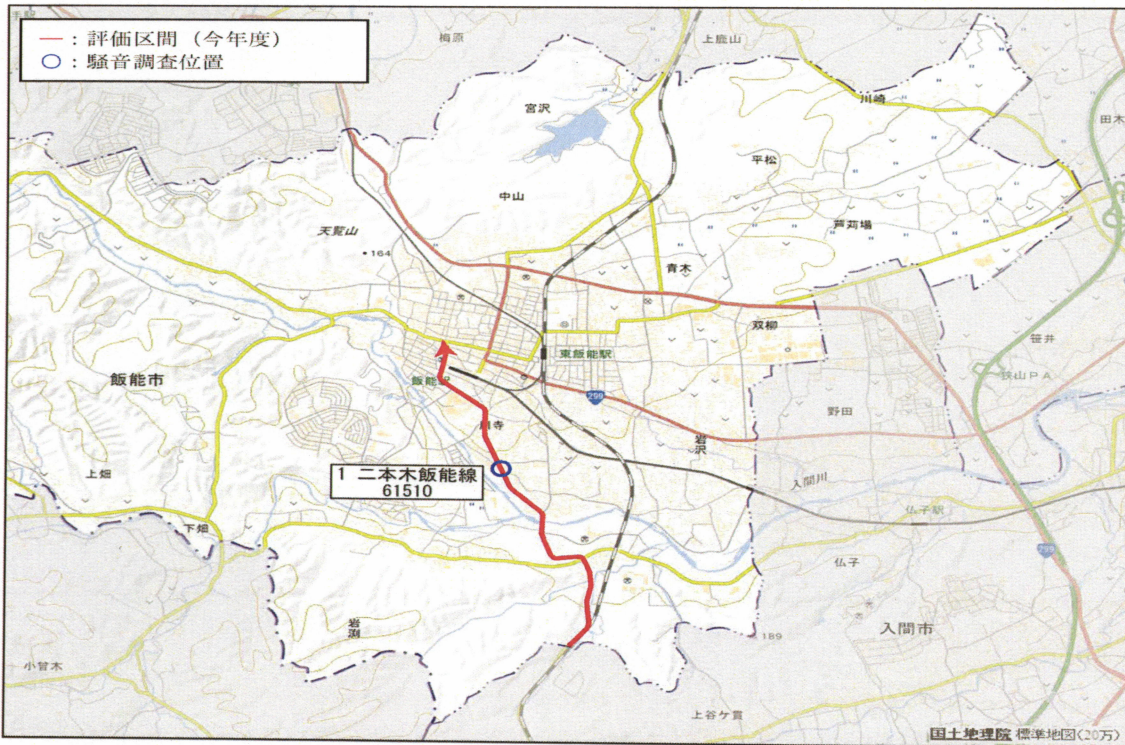
図面 番号	道路名 測定地点・車線数 区域の区分	測定 日	時間帯別騒音レベル(dB)						走行 方向	交通量(台/10分)					平均 速度 (km/ h)
			測定値		環境基準		要請限度			大型	小型	二輪	小計	合計	
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間							
1	県道飯能寄居線 下加治バイパス B 地域	11.13 ～ 11/14	66	64	○	○	○	○	飯能	18	118	2	138	215	34
									寄居	13	63	1	77		38
2	県道馬引沢飯能線 双柳373・2車線 B 地域	11.13 ～ 11/14	63	57	○	○	○	○	狭山	2	36	1	39	80	52
									飯能	1	37	3	41		38
3	国道299号 双柳782・2車線 B 地域	11.13 ～ 11/14	68	63	○	○	○	○	入間	3	60	2	65	130	41
									秩父	2	61	2	65		42
4	県道富岡入間線 阿須130・2車線 B 地域	11.13 ～ 11/14	69	63	○	○	○	○	青梅	4	37	1	42	97	57
									入間	6	48	1	55		58
5	国道299号 八幡町13・2車線 C 地域	11.13 ～ 11/14	64	59	○	○	○	○	入間	4	41	1	46	91	36
									秩父	3	42	0	45		37
6	県道二本木飯能線 川寺627・2車線 C 地域	11.13 ～ 11/14	68	66	○	×	○	○	入間	8	34	1	43	90	36
									飯能	6	41	0	47		39
7	国道299号 飯能狭山バイパス 青木37・2車線 B 地域	11.13 ～ 11/14	63	60	○	○	○	○	狭山	3	76	1	80	188	43
									飯能	8	99	1	108		38
8	県道飯能名栗線 永田539-1・2車線 B 地域	11.13 ～ 11/14	67	62	○	○	○	○	飯能	4	59	2	65	136	54
									名栗	7	62	2	71		53
9	国道299号 井上169・2車線 B 地域	11.13 ～ 11/14	71	69	×	×	○	○	入間	11	54	2	67	138	46
									秩父	10	56	5	71		47

図面 番号	道路名 測定地点・車線数 区域の区分	測定 日	時間帯別騒音レベル(dB)						走行 方向	交通量(台/10分)					平均 速度 (km/ h)
			測定値		環境基準		要請限度			大型	小型	二輪	小計	合計	
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間							
10	市道川寺上野線 飯能1344・2車線 B 地域	11.13 ～ 11/14	67	63	×	×	○	○	上野	14	60	2	76	136	27
									川寺	9	50	1	60		31

○…基準値内 ×…基準値超過 ※交通量台数は2回(11時、17時)測定した平均値  
 環境基準：人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持することが望ましいとされる基準。  
 要請限度：自動車による騒音がこの限度を超え、道路周辺の生活環境が著しく損なわれている場合、  
 公安委員会に必要な措置の要請及び道路管理者等に意見が述べることができる限度。  
 考察：昼間(6時～22時)2地点、夜間(22時～6時)3地点に、環境基準の超過があります。  
 しかし、いずれも要請限度を下回っています。

## <面的評価> 県道青梅飯能線

昼夜別 区間数	昼 間			夜 間		
	達成戸数	全戸数	環境基準達成率	達成戸数	全戸数	環境基準達成率
1	1,019	1,019	100.0%	880	1,019	86.4%



## <騒音に係る環境基準>

### ア 一般の環境基準

地域の種類	時間の区分		該 当 地 域
	昼間(6時~22時)	夜間(22時~6時)	
A	55dB以下	45dB以下	第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域
B			
C	60dB以下	50dB以下	第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域、用途外 近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

### イ 道路に面する地域の環境基準

地域の区分	昼 間	夜 間
A地域のうち2車線以上の車線を有する地域	60dB以下	55dB以下
B地域のうち2車線以上の車線を有する地域	65dB以下	60dB以下
C地域のうち車線を有する地域		

注) 車線とは、1縦列の自動車安全かつ円滑に走行するために必要な一定の幅員を有する帯状の車道部分をいう。

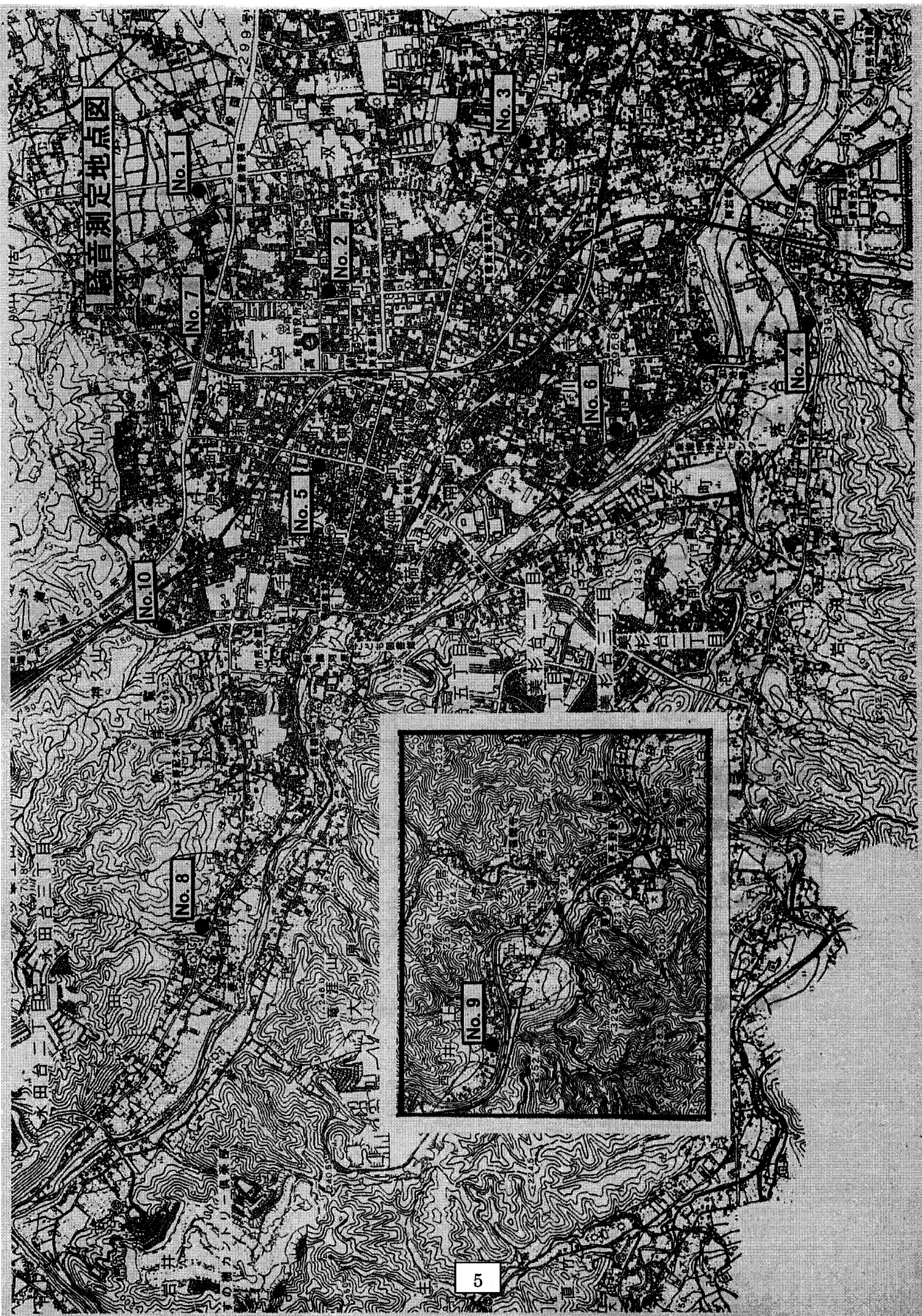
### ウ 幹線交通を担う道路に近接する空間の環境基準(特例)

区 分	昼 間	夜 間
屋 外	70dB以下	65dB以下

注) 幹線交通を担う道路とは、高速自動車国道、一般国道、都道府県道、4車線以上の市町村道をいう。



騒音測定地点図



## 道路交通振動測定結果 平成30年度

図面番号	道路名	測定地点	測定日	車線数	区域の区分	時間別振動レベル 上端値 (dB) (要 請 限 度)		交通量(台/10分)	
						昼 間	夜 間	昼 間	夜 間
6	県道二本木・飯能線	川寺627	11.13 ~11/14	2	2種	○ 34 (65)	○ 28 (60)	88	19
7	国道299号 飯能狭山バイパス	青木37	11.13 ~11/14	2	1種	○ 45 (60)	○ 38 (55)	187	34
8	県道飯能・下名栗線	永田2	11.13 ~11/14	2	1種	○ 31 (60)	○ 21 (55)	134	29

○…基準値内    ×…基準値超過

※交通量台数は昼間2回(11時、17時)、  
夜間2回(22時、2時)を測定した平均値

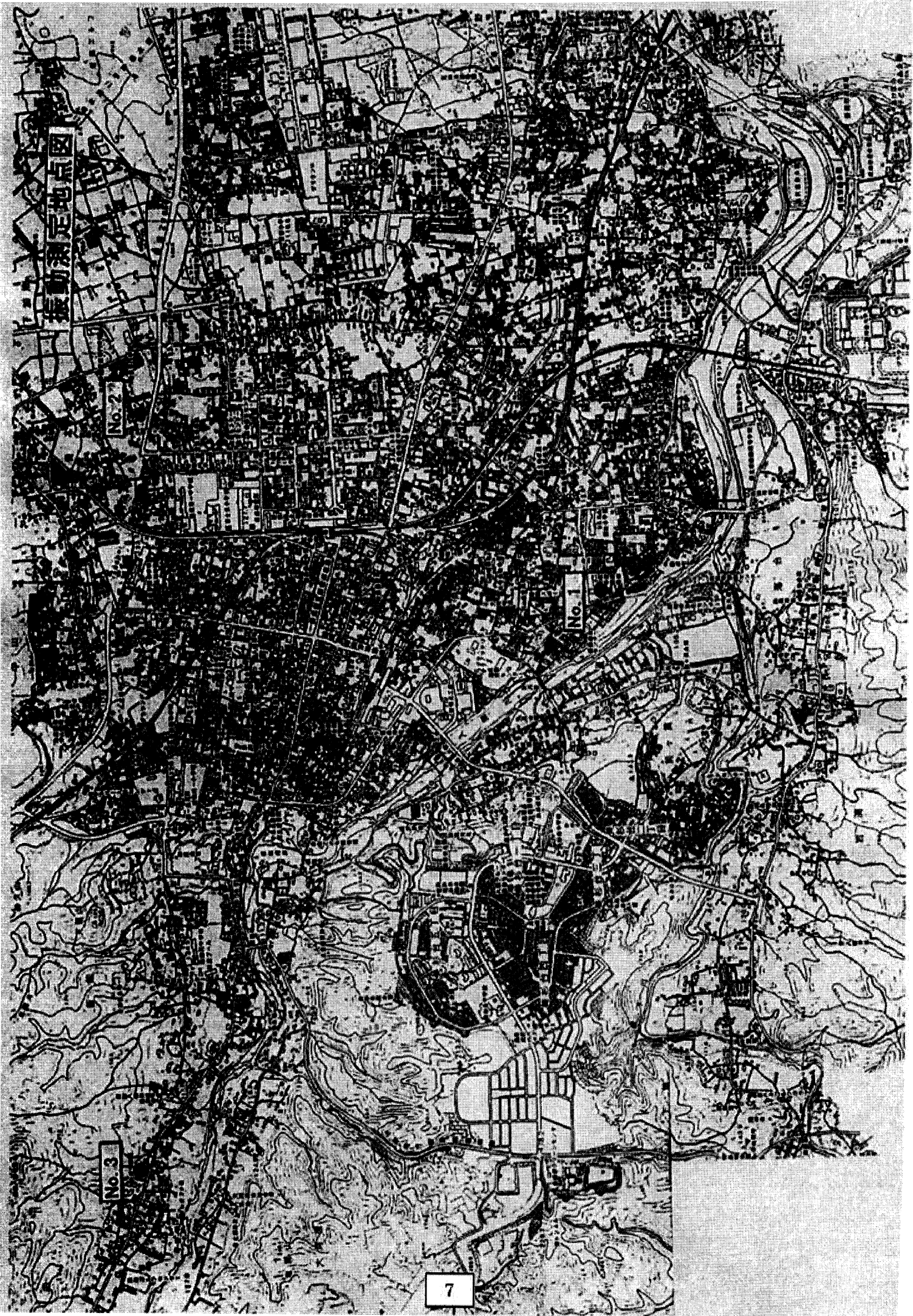
### 道路交通振動に係る要請限度

区域の区分	時間の区分	
	昼間 (8時~19時)	夜間 (19時~8時)
1種区域		
第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域	60	55
第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域		
第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域、用途外		
2種区域		
近隣商業地域、商業地域	65	60
準工業地域、工業地域		

考察：道路交通振動については、要請限度を十分満足する数値となっています。



振動測定地点図



## 大気関係常時監視測定結果 平成30年度

一酸化窒素(NO) 環境基準値:なし

(単位:ppm)

項目 / 月	30.4	5	6	7	8	9	10	11	12	31.1	2	3	平均等
月平均値	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.002	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	0.002
1時間値の最高値	0.011	0.024	0.016	0.024	0.015	0.012	0.027	0.022	0.052	0.036	0.033	0.029	0.052
日平均値の最高値	0.002	0.002	0.003	0.003	0.003	0.003	0.005	0.005	0.016	0.012	0.007	0.003	0.016

二酸化窒素(NO<sub>2</sub>) 環境基準値:1時間値の1日平均値が0.04ppm~0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下 (単位:ppm)

項目 / 月	30.4	5	6	7	8	9	10	11	12	31.1	2	3	平均等
月平均値	0.008	0.008	0.008	0.007	0.006	0.007	0.008	0.010	0.010	0.009	0.011	0.009	0.008
1時間値の最高値	0.034	0.030	0.026	0.019	0.022	0.021	0.027	0.031	0.043	0.042	0.050	0.031	0.050
日平均値の最高値	0.012	0.015	0.013	0.010	0.011	0.011	0.014	0.015	0.021	0.022	0.025	0.016	0.025

窒素酸化物 環境基準値:なし

(単位:ppm)

項目 / 月	30.4	5	6	7	8	9	10	11	12	31.1	2	3	平均等
月平均値	0.009	0.009	0.009	0.009	0.007	0.008	0.010	0.012	0.014	0.011	0.014	0.011	0.010
1時間値の最高値	0.042	0.050	0.039	0.040	0.037	0.030	0.050	0.043	0.075	0.073	0.074	0.052	0.075
日平均値の最高値	0.014	0.016	0.015	0.012	0.013	0.013	0.016	0.019	0.029	0.034	0.030	0.018	0.034

光化学オキシダント 環境基準値:1時間値が0.06ppm以下

(単位:ppm)

項目 / 月	30.4	5	6	7	8	9	10	11	12	31.1	2	3	合計等	
昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた	日数	16	19	16	16	17	6	4	0	0	0	0	3	97
	時間	115	123	113	79	84	18	15	0	0	0	0	6	553
昼間の1時間値が 0.12ppmを超えた	日数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	時間	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
昼間1時間値の最高値	0.106	0.109	0.112	0.133	0.122	0.075	0.080	0.053	0.043	0.045	0.055	0.065	0.133	

浮遊粒子状物質 環境基準値:1時間値の1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下、かつ1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>以下 (単位:mg/m<sup>3</sup>)

項目 / 月	30.4	5	6	7	8	9	10	11	12	31.1	2	3	平均等
月平均値	0.023	0.021	0.017	0.023	0.022	0.016	0.016	0.016	0.014	0.012	0.018	0.018	0.018
1時間値の最高値	0.062	0.069	0.043	0.058	0.059	0.049	0.039	0.042	0.083	0.085	0.056	0.056	0.085
日平均値の最高値	0.045	0.047	0.031	0.046	0.049	0.034	0.030	0.029	0.030	0.020	0.033	0.040	0.049

※埼玉県大気汚染常時監視測定局(飯能局)で測定した数値  
設置場所 飯能県土整備事務所

一酸化窒素(NO) : 無色の気体で液化しにくく空気よりやや重い。空気又は酸素に触れると赤褐色の二酸化窒素に変わる。

二酸化窒素(NO<sub>2</sub>) : 石油や石炭等の窒素分を含んだ燃料の燃焼によって発生する。呼吸器系の疾患の原因となる。

窒素酸化物(NO<sub>x</sub>) : 窒素と酸素の反応により生成された物質の総称。NOやNO<sub>2</sub>等が主なもので、光化学スモッグの原因物質の一つ。

光化学オキシダント : 紫外線によって複雑な化学反応を起こして作られるオゾン、PAN、NO<sub>2</sub>等の酸化性物質の集合体。

浮遊粒子状物質 : 粉じん、ばいじん等の大気中の粒子状物質のうち、その粒径が10μm以下のもの。SPM。

光化学スモッグ注意報発令日時内容  
平成30年度 県南西部地区

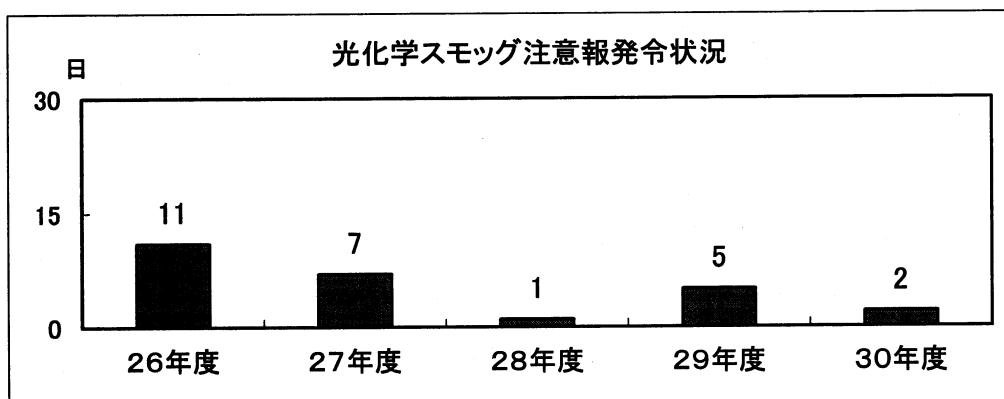
No.	発令日	天候	発令時間	発令内容	最高値
1	30. 4. 22(日)	晴	15:20~17:20	光化学スモッグ注意報	0.120ppm
2	30. 8. 4(土)	晴	14:20~18:20	光化学スモッグ注意報	0.139ppm

○光化学スモッグ発令基準

注 意 報：オキシダント測定値が0.12ppm以上となり、継続すると認められるとき。

警 報：オキシダント測定値が0.20ppm以上となり、継続すると認められるとき。

重大緊急報：オキシダント測定値が0.40ppm以上となり、継続すると認められるとき。



※県南西部地区では、昭和60年から警報の発令はありません。

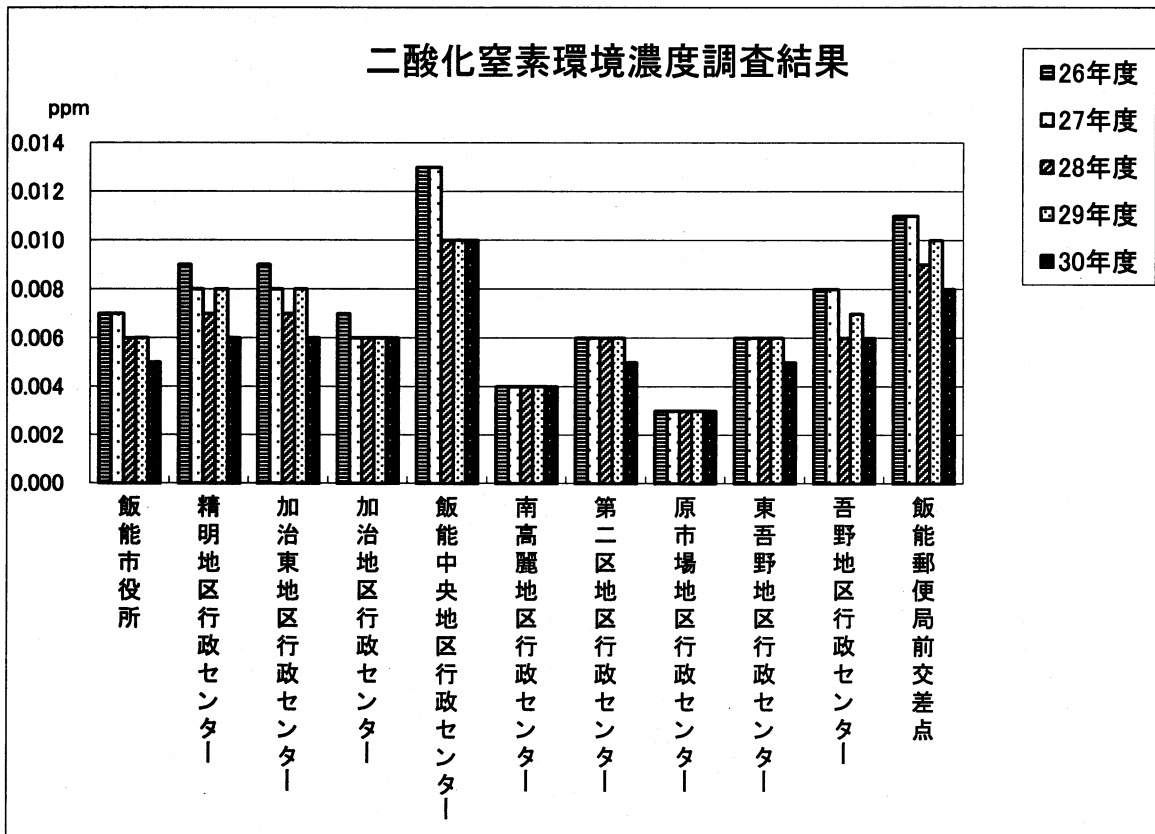
## 二酸化窒素(NO2)環境濃度調査結果

調査年月日 平成30年 6月20日～7月27日
平成30年 8月15日～8月22日

平成30年11月14日～11月21日
平成31年 2月13日～2月20日

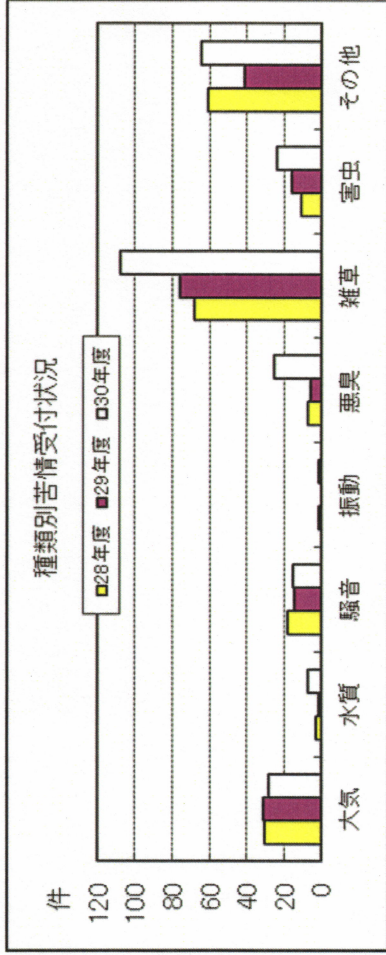
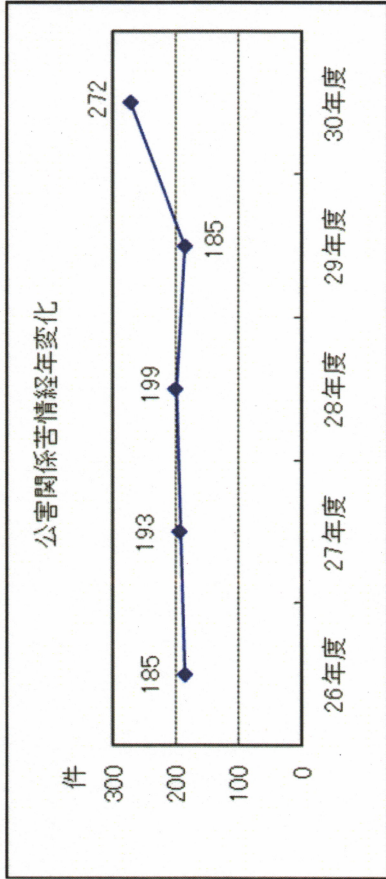
調査地点	二酸化窒素濃度 (単位:ppm)				
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
飯能市役所	0.007	0.007	0.006	0.006	0.005
精明地区行政センター	0.009	0.008	0.007	0.008	0.006
加治東地区行政センター	0.009	0.008	0.007	0.008	0.006
加治地区行政センター	0.007	0.006	0.006	0.006	0.006
飯能中央地区行政センター	0.013	0.013	0.010	0.010	0.010
南高麗地区行政センター	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004
第二区地区行政センター	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005
原市場地区行政センター	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003
東吾野地区行政センター	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005
吾野地区行政センター	0.008	0.008	0.006	0.007	0.006
飯能郵便局前交差点	0.011	0.011	0.009	0.010	0.008

※ 簡易測定法(フィルターパッチ法)により測定し、数値は年4回の平均値  
 ※ 二酸化窒素に係る環境基準 0.04ppm～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下であること。





平成30年度 公害関係苦情受付状況



※同じ原因に対する苦情は、1件としています。

○ 主な苦情

No	受理日	種別	地域	苦情内容及び対応
1	30. 4. 3	雑草	笠縫	自宅前の駐車場の雑草が繁茂し困っている。→現地確認の上、土地所有者宅を訪問し除草の依頼をした。
2	5. 1	騒音	東町	近くの飲食店のカラオケの音がうるさい。→状況確認の上、音量を下げるなどの指導を実施した。
3	5.29	雑草	笠縫	家の近くの木の実が大量に道路に落ち、潰れて不衛生。→現地確認の上、樹木の所有者に説明し木の実の収穫などを依頼した。
4	6.14	水質汚濁	青木	南小畔川で魚が死んでいる。→現地にて県とともに簡易水質検査を実施した結果、水質上の問題は認められなかった。
5	6.22	悪臭	茜台	自宅付近の工場の方から悪臭がする。→現地確認の結果、原因となる工場が判明したため悪臭防止の対応を依頼した。
6	7. 4	その他	久須美	自宅付近の敷地に盛土があり、重機の搬出入の音や土埃が家に入り困っている。→現地確認の上、土地所有者を訪問し近隣への配慮を依頼した。
7	8. 2	害虫	中山	空き家の敷地内にスズメバチの巣が出来て困っている。→現地を確認の上、所有者へ指導文書を送付した。また、付近に注意喚起の看板を設置した。
8	8.30	その他	川寺	野良猫が庭にフンをして困っている。その猫には近所の人が餌を与えている。→給餌者に対し猫用トイレを設置するなど、周辺への配慮を依頼した。
9	9. 5	その他	柳町	隣家の空き家のタン屋根が台風の風で飛ばされ危険な状態である。→建築課と共に現地確認の上、所有者に説明し建物の修繕等を依頼した。
10	9.10	その他	下川崎	近所の敷地に置いてある積み荷の生地が破れ、プラスチック片が周囲に飛散している。→現地確認の上、所有者へ飛散防止の措置を依頼した。
11	10.11	大気汚染	本町	自宅前の駐車場で車が日常的に長時間アイドリングしている。→運転手に事情を説明し配慮を依頼した。
12	10.25	雑草	下赤工	空き家の敷地の雑草が繁茂し困っている。→現地確認の上、土地所有者へ指導文書を送付し対応を求めた。
13	12.13	騒音	中藤下郷	近所の方の日曜大工の音が大きく困っている。→状況確認の上、近隣への配慮を依頼した。
14	12.26	大気汚染	下川崎	近所の資材置場で野焼きがされ、煙に困っている。→現地を訪問し、野焼き行為禁止の指導をした。
15	31.1.17	悪臭	飯能	近所の側溝から下水のような臭いが困っている。→付近を踏査したが原因は判明せず、長期間降雨がなかったことが原因と思われる。



# 地下水汚染調査結果

## トリクロロエチレン

(単位:mg/l)

	基準値	A・双柳	B・双柳	C・川寺	D・川寺	E・川寺	F・川寺	G・川寺	H・本町	I・南町	J・稲荷町
26年度	0.01	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002	0.002	0.002未満	0.002未満	0.65	0.002未満	0.002未満
27年度		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.032	0.001未満	欠測
28年度		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.59	0.001未満	0.001未満
29年度		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001	0.58	0.001未満	0.001未満
30年度		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.50	0.001未満	0.001未満

## テトラクロロエチレン

(単位:mg/l)

	基準値	A・双柳	B・双柳	C・川寺	D・川寺	E・川寺	F・川寺	G・川寺	H・本町	I・南町	J・稲荷町
26年度	0.01	0.0087	0.0069	0.0005未満	0.0005未満	0.0014	0.0005未満	0.0006	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
27年度		0.0071	0.014	0.0005未満	0.0015	0.0025	0.0005未満	0.0008	0.0005未満	0.0005未満	欠測
28年度		0.0069	0.0094	0.0005未満	0.0005未満	0.0022	0.0005未満	0.0005	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
29年度		0.0072	0.0099	0.0005未満	0.0010	0.0014	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
30年度		0.0054	0.011	0.0005未満	0.0011	0.0014	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満

## 1, 1, 1-トリクロロエタン

(単位:mg/l)

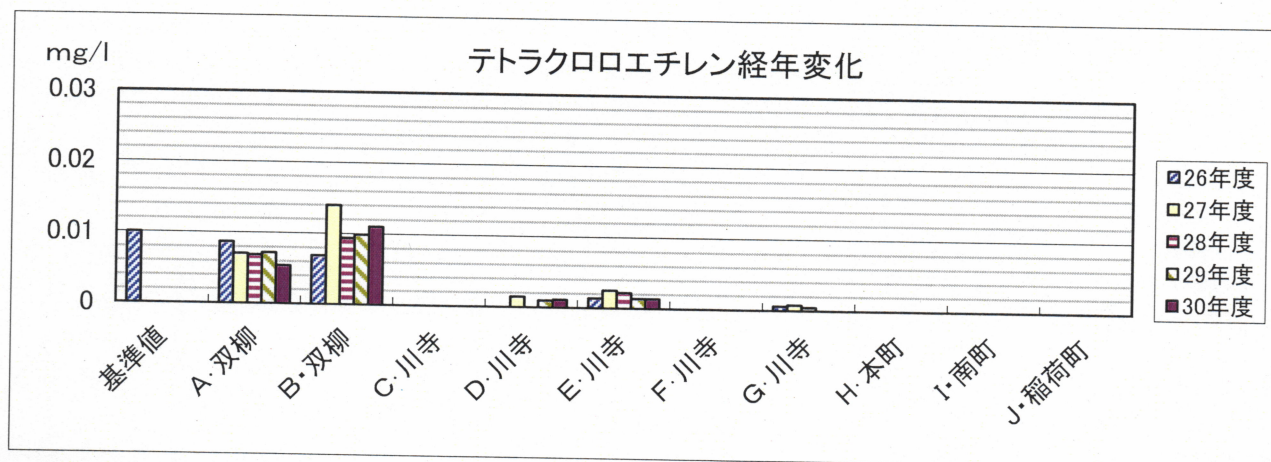
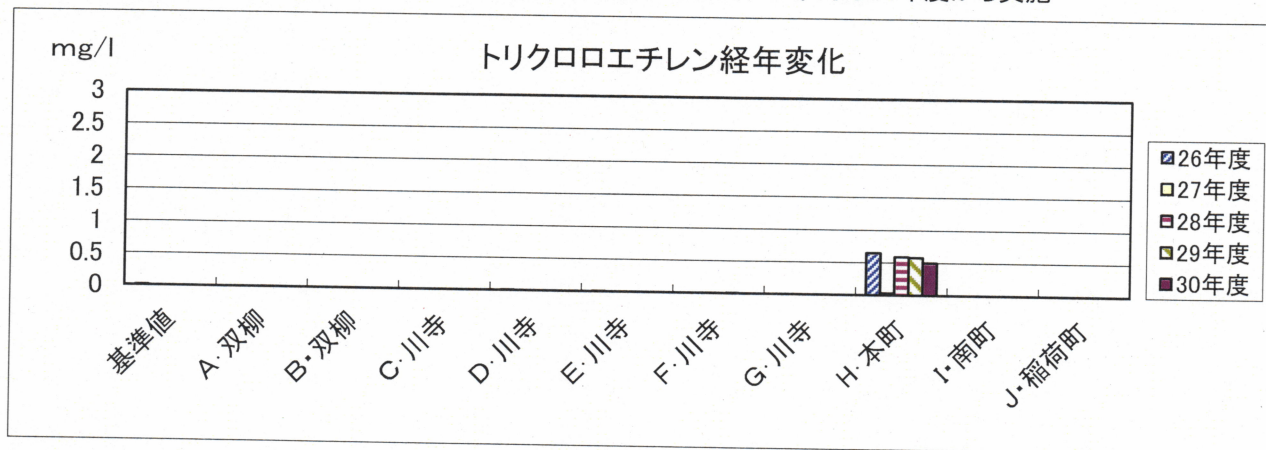
	基準値	A・双柳	B・双柳	C・川寺	D・川寺	E・川寺	F・川寺	G・川寺	H・本町	I・南町	J・稲荷町
26年度	1	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
27年度		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	欠測
28年度		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
29年度		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
30年度		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満



は、環境基準超過

採水年月日 平成31年1月25日

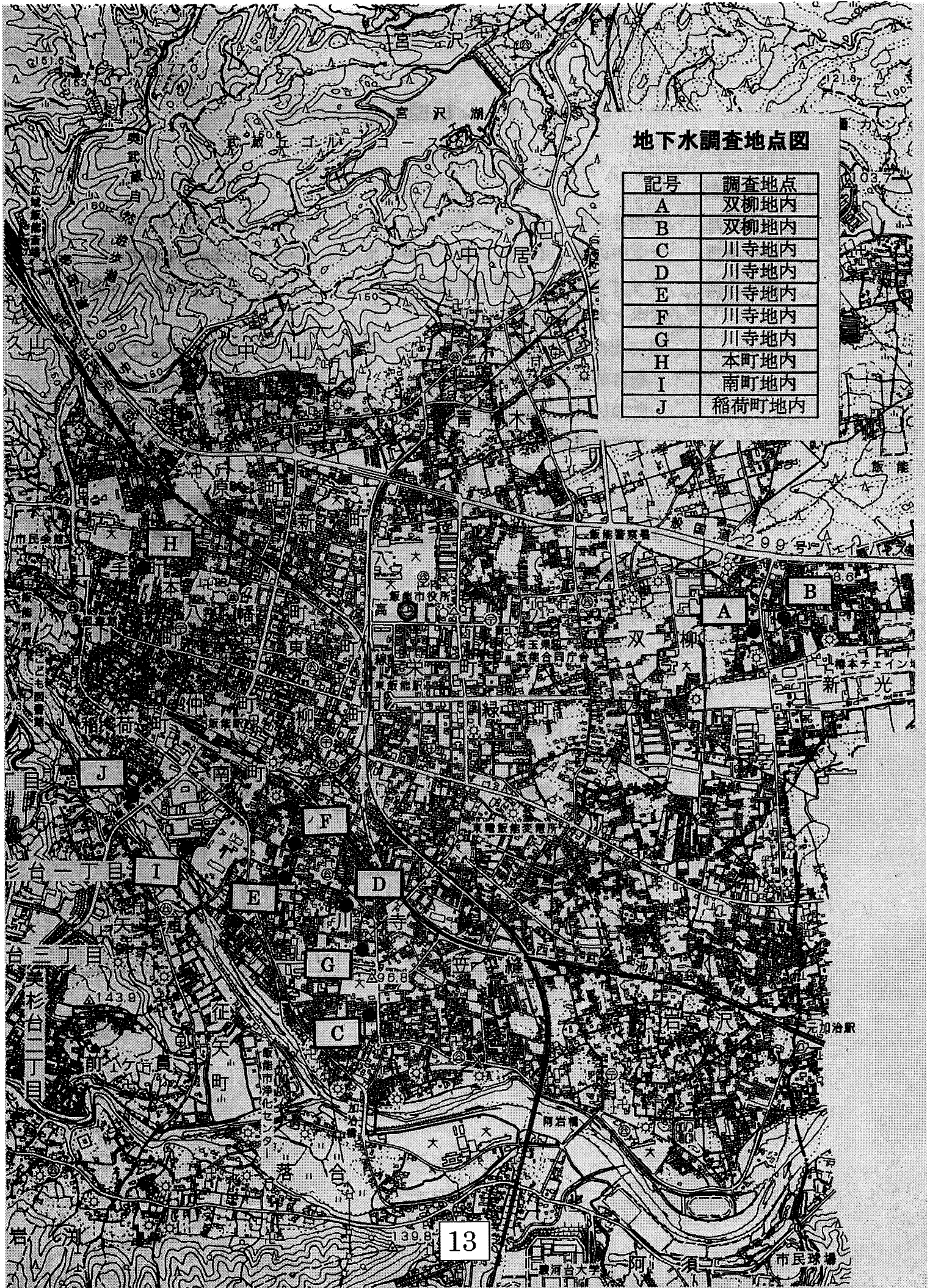
※J・稲荷町は20年度から実施、D・川寺は22年度から調査地点変更、H・本町は23年度から実施





### 地下水調査地点図

記号	調査地点
A	双柳地内
B	双柳地内
C	川寺地内
D	川寺地内
E	川寺地内
F	川寺地内
G	川寺地内
H	本町地内
I	南町地内
J	稻荷町地内



## ダイオキシン類環境調査結果

### 1. 大気調査

**調査期日** 平成30年11月20日～11月27日（1週間サンプリング手法）  
**調査項目** 大気中のダイオキシン類28項目及びコプラナーPCBs14項目  
**調査方法** ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル（平成20年3月環境省水・大気環境局）に準拠

※二重測定の実施 … 上記マニュアルに基づき試料採取分析における総合的な信頼性を確保するため、同一条件で採取した2以上の試料について、同様に分析し定量下限値以上の濃度の測定対象物質について両者の差が30%以下であることを確認する。

**調査結果** ダイオキシン類対策特別措置法の大気に対する環境基準値である0.6 pg-TEQ/m<sup>3</sup>と比較すると、全地点で基準値以下でした。（下表参照）

調査地点	毒性換算濃度（pg-TEQ/m <sup>3</sup> ）		
	平成29年度	平成30年度	基準値
飯能市役所	0.016	0.014	0.6
精明地区行政センター	0.019	0.017	
加治東地区行政センター	0.016	0.018	
美杉台小学校	0.010	0.012	
南高麗中学校	0.010	0.011	
吾野中学校	0.0056	0.0081	
東吾野地区行政センター	0.013	0.013	
原市場中学校	0.011	0.097	
名栗地区行政センター	0.0044	0.0066	

## 2. 土壌調査

調査期日	平成30年11月22日
調査項目	土壌のダイオキシン類28項目及びコプラナーPCBs14項目
調査方法	ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル（平成21年3月環境省水・大気環境局）に準拠
調査結果	ダイオキシン類対策特別措置法の土壌に対する環境基準値である1000 pg-TEQ/gと比較すると、全地点で基準値以下でした。 (下表参照)

調査地点	毒性換算濃度 ( pg-TEQ/g )		
	平成29年度	平成30年度	基準値
精明小学校		2.7	1000
加治小学校		3.6	
飯能第二小学校		0.0018	
南高麗中学校		1.8	
あすなろ会館		0.91	
富士見小学校	0.20		
加治中学校	1.8		
名栗中学校	0.35		
原市場小学校	0.057		
西川小学校	0.51		

- (注) ・ pg … ピコグラム (1 pg = 1兆分の1グラム)  
 ・ TEQ … 毒性等量。ダイオキシン類は多くの異性体が存在し、毒性もそれぞれ異なるため、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算して表していることを示す符号。

- 考 察 ○大気調査の結果は法令等（焼却規制）の強化により、全ての調査地点で0.1 pg-TEQ/g未満の数値となっています。  
 ○土壌調査の調査地点は毎年変更していますが、全て1桁以下の数値となっています。

### 3. ごみ処理施設調査

調査期日 平成30年6月1日及び7月2日

調査項目 ごみ焼却施設 … 排ガス、焼却灰、飛灰

最終処分場 … 放流水、地下水

調査結果 ごみ焼却施設及び最終処分場とも、基準値以下で維持管理されています。

#### ○クリーンセンター

調査地点		毒性換算濃度 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)		
		平成29年度	平成30年度	基準値
排ガス	1号炉	0.030	0.0059	5
	2号炉	0.015	0.0073	
		毒性換算濃度 (ng-TEQ/g)		
焼却灰	1号炉	0.0081	0.00036	3
	2号炉	0.00066	0.00022	
飛灰	1号炉	0.26	0.16	
	2号炉	0.14	0.52	

測定日：1号炉（排ガス、焼却灰、飛灰）平成30年7月2日

2号炉（排ガス、焼却灰、飛灰）平成30年6月1日

○最終処分場

調査地点	毒性換算濃度 (pg-TEQ/l)		
	平成29年度	平成30年度	基準値
新最終処分場排水	0.000099	0.0033	10
旧最終処分場排水	0.29	0.13	
新最終処分場観測井(下流側)	0.75	0.037	1

測定日：新最終処分場排水 平成30年6月15日

旧最終処分場排水 平成30年6月15日

新最終処分場観測井(下流側) 平成30年6月15日

(注)・ng…ナノグラム (1ng=10億分の1グラム)

・pg…ピコグラム (1pg=1兆分の1グラム)

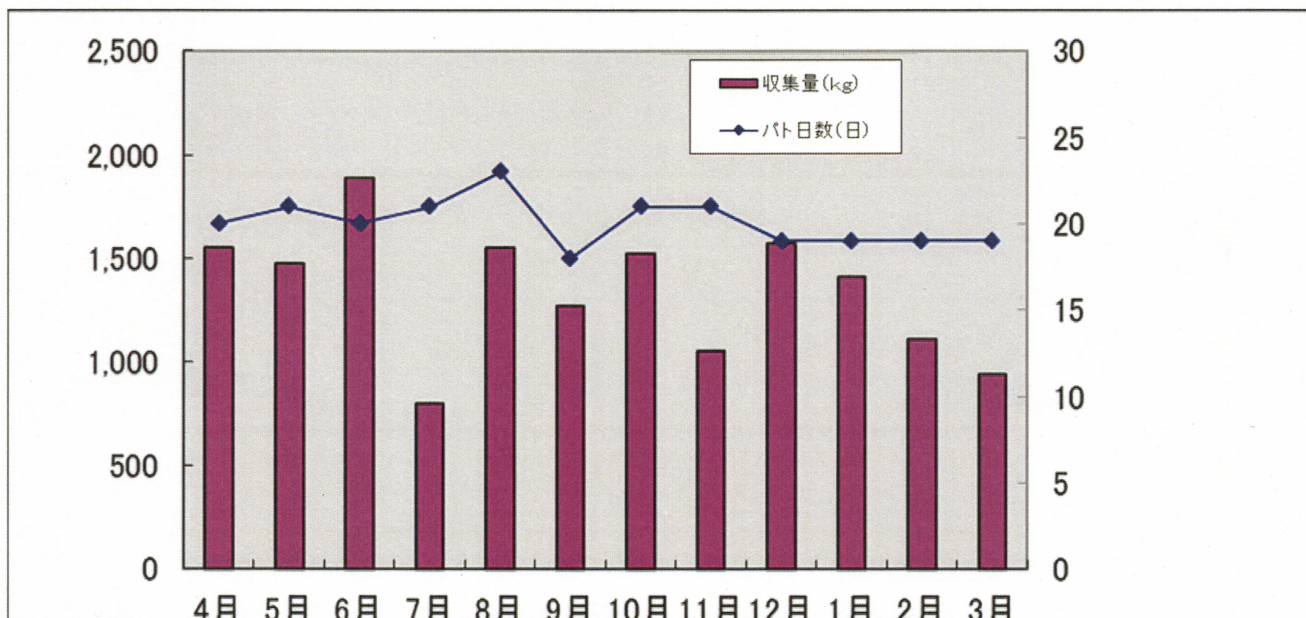
・m<sup>3</sup>N…ノルマル立方メートル 0℃、1気圧の状態に換算したガスの量



## 不法投棄パトロール等の状況

パトロール員による不法投棄物等の収集状況

平成30年度状況      パトロール日数   241日      収集量   16,130kg



主な不法投棄場所（400kg以上）等

	収集日	不法投棄場所	主な投棄物	収集量
1	4/23	上名栗	車部品、タイヤ、鉄くず	410 kg
2	10/18	長沢	液晶テレビ、冷蔵庫、タンス等	460 kg

年度別パトロール状況等

年度	パトロール日数	パトロール員収集量	【参考】不法投棄総量
25	222日	27,330kg	43,780kg
26	229日	15,670kg	31,430kg
27	237日	14,430kg	29,900kg
28	243日	16,060kg	37,300kg
29	240日	12,900kg	23,350kg
30	241日	16,130kg	23,960kg



公共用水域の水質調査結果地点別総括表(生活環境項目)

(平成30年度)

河川名等	地点名	類型	pH		BOD(mg/l)		DO(mg/l)		SS(mg/l)		大腸菌群数(MPN/100ml)	
			平均値	最小値 ~ 最大値	平均値	75%値	最小値 ~ 最大値	平均値	最小値 ~ 最大値	平均値	最小値 ~ 最大値	平均値
入間川	中郷橋下	A	8.1	7.9 ~ 8.3	0.5	0.5	10.6	8.6 ~ 12.6	1	1 ~ 1	1,940	110 ~ 3,300
	弁天河原	A	8.0	7.8 ~ 8.3	0.6	0.6	11.1	9.2 ~ 12.7	1	1 ~ 1	860	220 ~ 2,200
	開運橋下	A	8.3	8.0 ~ 8.8	0.5	0.5	11.2	9.4 ~ 13.1	1	1 ~ 1	600	33 ~ 1,700
	上赤沢バス折返場下	A	8.3	8.1 ~ 8.7	0.5	0.5	10.8	9.0 ~ 13.4	1	1 ~ 1	1,200	330 ~ 3,300
	小岩井取水堰下	A	8.1	7.4 ~ 8.4	0.6	0.5	10.1	6.2 ~ 13.5	1	1 ~ 1	1,000	70 ~ 2,400
	割岩橋下	A	8.3	8.0 ~ 8.5	0.5	0.5	10.7	8.7 ~ 13.9	1	1 ~ 2	3,700	79 ~ 11,000
	阿岩橋下	A	7.7	7.6 ~ 7.9	2.2	2.4	9.1	7.8 ~ 10.1	1	1 ~ 1	4,600	79 ~ 11,000
	坂石橋下	A	8.2	8.0 ~ 8.4	0.5	0.5	10.7	8.9 ~ 13.4	1	1 ~ 1	3,500	170 ~ 11,000
	東吾野橋下	A	8.3	8.0 ~ 8.6	0.5	0.5	10.8	8.9 ~ 13.9	1	1 ~ 1	3,000	170 ~ 7,900
	成木川	清川橋下	A	8.2	8.1 ~ 8.5	0.5	0.5	10.6	8.9 ~ 14.2	1	1 ~ 1	3,300
高麗川	中藤川	一ノ瀬橋下	8.1	8.0 ~ 8.2	0.5	—	10.2	7.8 ~ 14.1	1	1 ~ 1	4,600	790 ~ 11,000
	藤田堀	大字岩沢350番地先	7.1	7.0 ~ 7.2	4.9	—	5.7	4.0 ~ 7.7	8	1 ~ 29	118,000	22,000 ~ 240,000
	南小畦川	大字青木・下加治境	7.7	7.4 ~ 8.1	1.5	—	9.2	7.0 ~ 12.0	2	1 ~ 3	30,000	2,400 ~ 79,000
入間川	起点下	A	—	—	—	—	—	—	—	64	49 ~ 79	

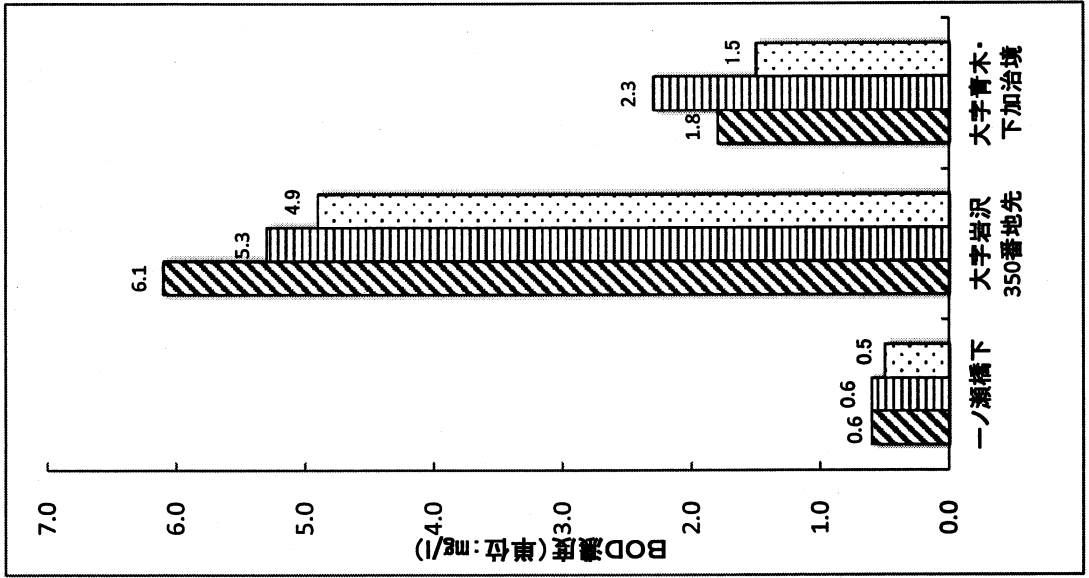
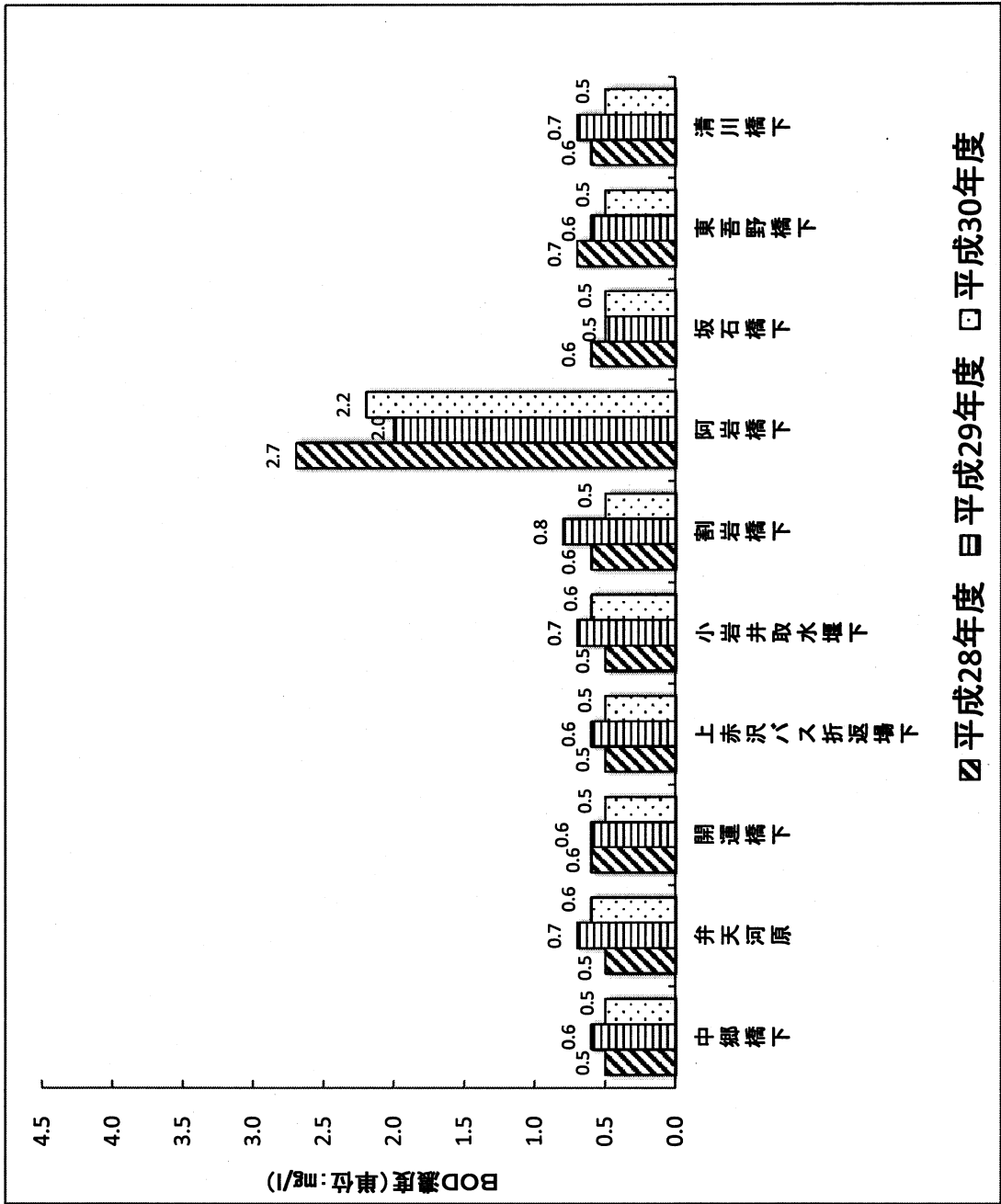
※BODは0.5未満を0.5、SSは1未満を1と表示

※BOD75%値:環境基準に適合しているか否かについて評価する際に用いられる年間統計値

参考) 生活環境の保全に関する環境基準(河川)

項目	基準		
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	溶存酸素量 (DO)	浮遊物質 (SS)
水素イオン濃度 (pH)	2mg/l以下	7.5mg/l以上	1000(MPN/100ml)以下
A	6.5 ~ 8.5	5mg/l以上	5000(MPN/100ml)以下
B	6.5 ~ 8.5	5mg/l以上	5000(MPN/100ml)以下

# 河川別BOD状況(過去3年間)



# 水質調査地点案内図

